

# XEM

## CASE REPORT 3

## 総胆管結石に対する内視鏡的採石術における オフセットバルーンの有用性





#### はじめに

総胆管結石の治療として、一般的にはEST施行後にクラッシャー鉗子、バスケット鉗子、バルーンカテーテル等を 用いて内視鏡的に採石が行われている。なかでも、バルーンカテーテルは、鉗子にて把持困難な結石、複数個の結 石、胆泥のかき出しを短時間で行えるという利点等がある。本稿では、最近ゼオンメディカル社から発売されたオフ セットバルーンについて述べたいと思う。

#### 症例1

95歳女性。総胆管結石による閉塞性黄疸にて当科入院。ERCPにて径30mmの結石を認めたため(図1)、 EST施行。ゼメックスクラッシャーカテーテルで砕石後、オフセットバルーン(EXP71820P 18mm径 プロキ シマルタイプ)を用いることで、短時間で効率よく、比較的大きな多数の結石、胆泥を除去することができた (図2、図3)。





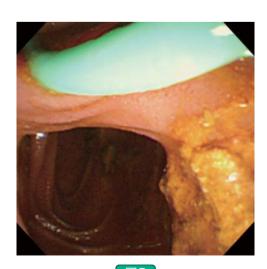


図2

図3



#### 症例2

87歳女性。総胆管結石による閉塞性黄疸にて当科入院。ERCPにて下部胆管に径10mmの結石を認めた ため(図4)、EST施行。オフセットバルーン(EXP71820P 18mm径 プロキシマルタイプ)を用いて、短時間に 容易に結石を除去することができた(図5)。







図6

#### コメント

従来の胆管用バルーンカテーテルは、バルーンの中央にカテーテルが位置しているため、カテーテルが邪魔をして、 結石を下部胆管から十二指腸に引き抜けない症例が多く、比較的大きな結石の除去は困難であった。

最近発売されたオフセットバルーン(図6)はバルーンの端にカテーテルが位置しており、比較的大きな結石を カテーテルに邪魔されることなく、短時間に効率的に除去することができるという利点がある。また、オフセット バルーンは変形が少なく、胆管壁に固着した結石・胆泥の除去にも優れている。

以上のように、オフセットバルーンは総胆管結石の効率的な除去に非常に有用と思われる。

製造販売元

### ゼオンメディカル株式会社

URL:http://www.zeonmedical.co.jp